

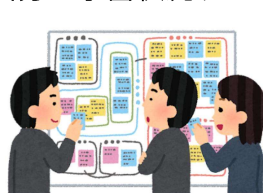
坂中の学習と評価 vol.5

令和6年度4月

◆令和5年度に取り組んできた考え方と方法を継承しながら、令和6年度の「坂中の学習と評価」の質も向上を図ります。

★ 学習指導要領の趣旨や理念に基づき、生徒の「主体的・対話的で深い学びに」につながる授業の実現に向けた日常的な授業改善に取り組みます。

- ・ 生徒が見通しを持って学習することや主体的に学び、解決できる課題での授業
- ・ 知識や技能の習得だけでなく、習得したことをもとに、思考・判断・表現しながら、問題を発見・解決したり、探究しながら主体的に取り組んだりすることができる授業
- ・ 生徒同士が協働して考えを深めたり、新たに創り出したりする活動を行う授業
- ・ 生徒が主体的に協働して学習できるように、学び方や学習の進め方を学ぶ授業
- ・ 生徒が自分の学習状況やペースに応じて個別最適に学ぶことができる活動を行う授業



文科省の学習指導要領
説明サイトはこちらから



★ 一人1台のタブレットPC（TPC）やクラウドを日常的に「楽しく活用」「効果的に活用」「将来の役に立つ活用」していきます。

- ・ 教科の学習を効果的・効率的に行うための活用
- ・ まわりの人たちの考えや活動を速やかに共有したり、一緒につくったりするための活用
- ・ 一人一人の学習状況に応じたことに取り組むための活用
- ・ 自分を見つめ、自分の状況に応じた学習を計画したり、実施したりするための活用
- ・ 連絡や調整をクラウド・アプリにより活用
- ・ 生徒の発想や考え方を活かした、みんなの役に立つ活用

※ ノートや教材などもこれまでと同じように活用します。

※ TPCは家庭学習でも活用します。



★ 生徒の学びを保証し、生徒が主体的に学ぶことにつながる授業と評価を行います。

- ・ 各授業や学習のまとまり（単元）ごとに、学習目標と評価基準（ルーブリック）を明確にして、授業を進めます。
- ・ 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で学習状況进行评估します。
- ・ 学習のまとまり（単元）ごとに単元テストや小テスト、レポートや発表、作品などをもとに、3観点で5段階（A+・A・B・C+・C）として評価をします。
- ・ 学期ごとにそれまで学習したいくつかの単元を総括して、3観点で5段階に評価し、さらに5段階（5・4・3・2・1）で評価し、それを通知表で生徒に示し、還元します。

＜定期テストの位置づけ＞

- ・ 定期テストは進路指導の一環として、その時点までの学習の状況を確認するために、学期に一度「実力テスト」として実施します。（教科によっては実施しない教科もあります。）
- ・ 1・2年生は各学期に1回、年間3回、3年生は各学期に1回と9月・10月の実力テスト（業者）の計5回のテストを実施します。いずれも自分の学習状況を把握し、進路指導につなげていきます。なお、定期テストは、単元の一つとして学期ごとの評定に加味します。



★ 生徒が自分を見つめ、自己評価して、その後の目標をはっきりさせて取り組むように支えます。

- ・ 授業ごとや授業のまとめ（単元）ごとに、学習目標や評価基準（ルーブリック）をもとに、自分の学びの状況を自己評価し、学習を見直したり次の目標を設定したりします。
 - ・ 学期を通した学びを通知表や自己評価で振り返り、自分の得意分野や補うところをよく知り、長期休業中やその後の学習の目標と計画を立て、それに基づいて学習を進めます。
- ※ 学習することの目的や意義、生涯にわたって学習することの必要性、自分の得意なことを伸ばして、互いの良さを認め合い、協働していくことの大切さなどについて、生徒に繰り返し伝えていきます。

★ 坂下中でこれまで大事にしてきたことを継続・進化して取り組みます。

- ・ わかりやすく、教科の魅力を味わわせることができる授業づくり
- ・ 特別の教科 道徳の授業の充実
- ・ 春日台特別支援学校との交流活動（対面・オンラインでの活動など）
- ・ 一人一人に応じた進路指導や生き方学習（総合的な学習の時間）
- ・ 学級力向上プロジェクトを活用した、生徒が主体となる学級・学校づくりの推進
- ・ 自分の興味・関心をもった教科の内容をさらに深化させる探究活動



★ 学習以外でも、次のようなことを柱にして取り組みます。

- 1 健康・安全第一
 - ・ 心身の健康があってこそ、充実した学校生活を送ることができます。また、安全な状況が守られているからこそ、安心して力いっぱい活動できます。そのためにも「健康・安全第一」を優先して日々の教育活動を実施します。
- 2 何事にも前向きに一步踏み出す
 - ・ 夢や目標をもち、何事にも一步踏み出す気持ちを大切にしていきます。挑戦する気持ちを称賛し、個々のよさに気づかせたり、継続することの大切さを伝えたりしながら、「なりたい自分の実現」のお手伝いをしていきます。
- 3 自分も大事、まわりも大事にする気持ちを大切に
 - ・ 学級づくりや学校行事・活動を「自分」を軸としたもの、「まわり」を軸としたもの、また、その両方を軸とするものとして、目的や目標を明確にして取り組みます。また、振り返りを通して、自分に自信がもてるようにするとともに、まわりの人を支えたり、感謝の気持ちを伝えたりすることができるようにしていきます。
- 4 みんなで見つめて、みんなで支える
 - ・ 担任や学年スタッフだけでなく、坂中の生徒一人一人を全ての教職員でよく見つめ、よさを共有するとともに、教職員全員で支え、生徒のよりよい成長につなげていきます。
- 5 あたり前を大切に
 - ・ よりよい自分やよりよい学級・学校をつくるためには、あたり前にやるべきことを、あたり前にやり続けることしかありません。「あいさつをする」「授業に真剣に取り組む」「友達に傷つくことをいわない」「学校のルールを守る」といった、あたり前のことを大切にしていくなかで育んでいきます。

